

◆第1委員会室◆

※若者の政治参加、質問のテーマの理由などについて活発な意見交換が行われました。



【議員 9名】

座長：荻田義雄

議員：山中益敏、浦西敦史、佐藤光紀、田中惟允、小林照代、藤野良次、
今井光子、川口正志

【高校生 9名】

(奈良女子大学附属高等学校) 小澤二子、北原礼菜、林田京華、芦高珠央、小野澤詩音
(十津川高等学校) 仮屋成珠、岡田覚、松谷瞭、小峠陽太

<高校生からの感想・意見>

- 生徒会長選挙を実際の選挙に見立てて、投票箱にきちんと入れることを実施しているが、こういう取り組みをしっかりとすれば投票に行きやすいと思う。
- 女性の就業率を上げる質問をしようと思ったが、女性も男性も楽しく子育てに参加できるよう、子育てを充実させて、次に働いてもらったほうがよいと思い、子育てについての質問をした。
- ボランティア活動について質問をしたが、8年前の台風の後には、グラウンドなどもうグラウンドではないような感じだった。そんなときボランティアでよそから来てくれた人や自衛隊の方々のおかげで復興、復旧ができ、とても感謝している。

<議員からの感想・意見>

- YouTubeで、政治的なチャンネルも結構ある。この高校生議会に参加して、政治に関心を持ったのなら、そういった動画も配信されているので、見てはどうかと思う。
- 就労だけに限らず、女性がいろいろな分野で活躍することは非常に大事だと思う。これからの社会では、働くということだけではなく、皆さんの持ち味を生かしてさまざまな社会参加を期待している。
- 市町村や県は、計画などを立てるときにはパブリックコメントを実施する。行政だけで決めて、議会だけが審議するのではなく、広く民主的に一般の意見を求めようと計画案、条例案が開示され、条例や計画に反映されることがあるので、そのパブリックコメントに一言、二言物申すということはできる。
- よい考え方というのは、民主主義の土台で、民主主義は、みんなが幸せにならないといけない。みんなの幸せのためには、私たちの地域に何が一番今大事なのか、ニーズ、課題をみんなですっかりつかんでもらいたい。

◆第2委員会室◆

※投票へ行くメリット、議員の若者への情報発信などについて活発な意見交換が行われました。



【議員 9名】

座長：山本進章

議員：樋口清士、植村佳史、亀甲義明、中川崇、亀田忠彦、大国正博、山村幸穂、森山賀文

【高校生 8名】

（高取国際高等学校）岡野愛来、北村美祐、岩出大和、霜辻和樹、櫛部孔太郎
（奈良育英高等学校）岩本佳乃、西保優太、吉川永貴

<高校生からの感想・意見>

- 自分が議員になった体験ができて、まずは奈良県内のことから、少しでも政治に興味を持ちたいという気持ちに変わった。
- 意見交換して、私たちの意見と大人の意見は違うと、視点の違いを深く思った。ディスカッションする場が、もっとふえたらよいと思う。
- 日ごろの生活の中でいろいろ不便だと思うことも実際にあるので、来年からの選挙で少しでも自分の意見を反映できるように、選挙に行きたいと思った。
- 議員さん一人ひとりの考えを聞き、自分の知らないところで奈良県内を具体的によくしようと動いてくれている人がいると、とても実感できた。来年、18歳になったら投票できるように、事前に各党の考えを自分から調べてみようと思った。

<議員からの感想・意見>

- 議会制民主主義では、投票に参加しないと自分たちの思いを出せることが少ない。よくわからないから、投票に行きづらいという意見もあったが、そのときは白票。とにかく意思は示すということが大切だと思う。
- 議員個人として、SNSで議員活動をアップしたり、大学生のインターンシップを受け入れたり、政党としても若い世代と交流して意見を聞く機会もあるので、若い人に興味を持ってもらいたい。
- 政治家の信条もさまざま、政党の考え方の違いもある。しかし、1点共通しているのは、奈良をよくしたいというのが全ての議員の願いでもある。きょうの質問では、自分の周りをもっと安全にしてほしい、もっと住みやすい奈良にしてほしいなどいろいろあり、それがみんな奈良をよくしたいという同じ思いで、すごいと思いながら聞かせてもらった。
- 女性議員が少ない。女性の政治参加、女性の意見を活かすことを若い人に期待している。

◆第3委員会室◆

※若者の投票率向上、政治家との交流などについて活発な意見交換が行われました。



【議員 8名】

座長：西川均

議員：小村尚己、小林誠、太田敦、清水勉、奥山博康、尾崎充典、粒谷友示

【高校生 10名】

（高田商業高等学校）森本太我、米本爽祐、中島威吹、永井栄太、高田廉士
（智辯学園奈良カレッジ高等学校）野阪菜月、山口莉実、尾崎成美、嘉藤舞、染田莉央奈

<高校生からの感想・意見>

- 政治や議会はかた苦しいもの、高校生には関係がないものと思っていた。自分達の意見が通るか通らないかは別として、きちんと聞いていただいたので、関係ないわけではないと感じた。
- 質問や提言を考えると、いろいろなことに興味が湧いてきた。たくさんの若い人が、実際にどうすればよりよくなるか、考えられたらよいと思った。
- こういう場で議員さんたちと触れ合うことで、少なくとも私は政治に参加したいと思えた。
- 19歳になると県外の大学へ通う人が多いと思う。住民票を移していない人も多いので、県外からでも奈良のいろいろな情報を得て投票できるような政策ができたらよいと思う。
- 学校に選挙管理委員会の方が来て、説明していただき、模擬投票をする機会があった。本当にわかりやすく、選挙に行ってみようという気持ちになってよかった。

<議員からの感想・意見>

- 政治家が学校に行って話すことは、学校教育の中で、偏った考えになってもいけないので難しい。だから、このようにいろいろな議員と会うイベントが、よいと思う。
- 自分たちの未来を自分たちで決めるためには、どういうシステムになっているのかを、きょう学んでいただいたと思う。若い方が政治に対して興味を持ち、真剣になって将来を考えることが非常に重要である。
- 明日の天気を変えることはできないが、明日からの政治は変えることができる。これは皆さん一人ひとりの自覚なので、きょうの経験を活かしていただきたい。